

行事概要書

(県政記者クラブ配布資料)

ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生事例について

平成19年2月14日、須崎保健所管内の特別養護老人ホーム・養護老人ホームで、入所者及び職員にノロウイルスの集団感染が発生し、有症者の中から1人の死亡者が出たことが判明しましたが、感染性胃腸炎と死亡との因果関係は明らかではありません。

1 施設の概要

特別養護老人ホーム・養護老人ホーム
入所者：80人、職員：52人

2 発生の状況等

平成19年2月10日に、入所者4人及び職員2人に嘔吐・下痢の症状が発生しました。

その後、嘔吐・下痢・発熱を呈する入所者の発生が連日続いたため、2月13日に施設が須崎保健所に対応を相談しました。

同日から須崎保健所で調査した結果、次のとおり入所者・職員に感染性胃腸炎の症状が見られることが判明しました。

有症状者（平成19年2月14日現在、平成19年2月10日からの累積）

入所者	： 18人（70歳代～90歳代）
職員	： 2人
計	20人

2月14日に有症者のうち、検体採取出来た4人の検体を高知県衛生研究所で検査した結果、次のとおりノロウイルスが検出され、同ウイルスによる施設内での感染が確認されました。

検査結果（PCR検査による）

	検査人数	ノロウイルス陽性者数
入所者	4人	4人
職員	0人	0人

3 死亡者の発生

平成19年2月13日に、有症者のうち、90歳代の女性の入所者1人が亡くなりました。

なお、この女性のノロウイルスの検査は実施しておらず、感染性胃腸炎と死亡との因果関係は明らかではありません。

また、この女性以外の有症者はいずれも軽症です。

4 感染原因

食中毒ではなく、（ヒトからヒトへ感染した）感染症と判断し、須崎保健所で調査を実施しているが現在のところ不明。

5 施設に対する指導

須崎保健所は、昨年10月以降、施設に対し、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の予防啓発、保健所職員の出張研修を行ってきましたが、2月14日以降、再度施設に対し、施設内感染の拡大・再発を防止するための衛生指導を実施しました。

6 報道機関の皆様へのお願い

報道にあたりましては、患者及び御遺族のプライバシーの保護に御配慮いただきますようお願いいたします。

担当課：健康づくり課

担当者：間崎・櫻井（健康づくり課）

電話：823-9677（健康づくり課）

（特別養護老人ホーム・養護老人ホームの所管課：高齢者福祉課）

平成19年2月14日